

幼稚園ねっとお裁縫部 「マジックテープ式お弁当袋の作り方」

サイズは一般的な園児用弁当箱(縦11cm×横13cm×厚み5cm)を基準にしています。お手持ちのお弁当箱のサイズに合わせて、裁断のサイズは変更してください。

用意するもの

【本体】縦33cm×横22cm(縫い代1cm込み)を2枚

【フタ】縦16cm×横22cm(縫い代1cm込み)を2枚

【その他】マジックテープ 縦2.5cm×横4cmを1組。お好みでフタの幅に合わせたレースなども。

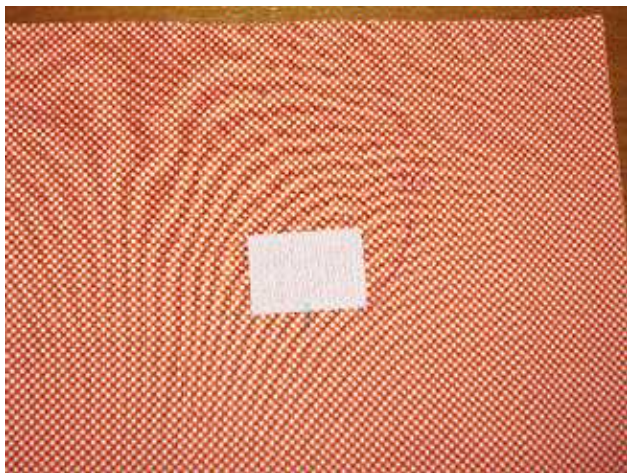
フタにお好みのレースなどで飾る場合、フタ用に裁断した布1枚のふちから5cmくらいのところに、縫いつけます。レースの4辺を縫うとよいでしょう。



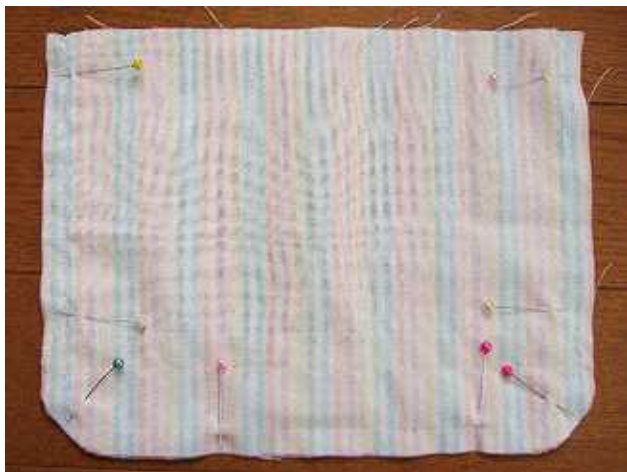
もう1枚のフタの布地の端から1.5cmの中央部にマジックテープ(柔らかい方)を縫いつけます。



本体の布の表地中央部、上から6cmにマジックテープ(硬いほう)を縫い付けます。



フタ2枚を中表(内側が表同士)になるようにおき、上部を除く周囲を縫います。



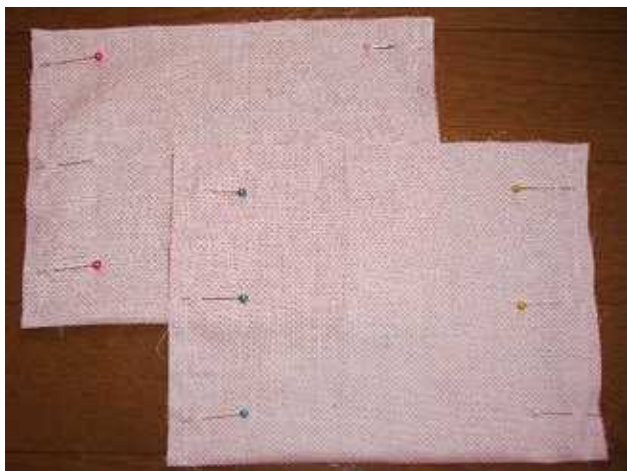
アイロンで縫い代を割ります。



中表に縫った のフタを表にひっくり返し、アイロンで形を整えたあと、上を除く周囲に端ミシン（端から5mmをミシンで押さえる）をかけます。



本体の布二枚をそれぞれ中表に折り、両脇を縫います。



で縫った本体の底にマチを作ります。まず縫い代を割り、底辺6cmになるような二等辺三角形を作り、底辺を縫います。一枚につき両端2カ所、合計4カ所マチを作ります。



マチを作った本体のうち、本体表布（ でマジックテープをつけた布）を表に返し、もう一枚の本体の布（裏地が出たままの状態になっています）の中に入れセットします。



セットした本体2枚の入れ口とそれぞれの脇の線をしっかりあわせて、まち針で留めます。入れ口（底を下にしての上部）から1cmの部分、7cmくらいの返し口を残しぐるっと縫います。



で作った返し口から、布を引き出して形を整え、アイロンをかけましょう。



形を整えた入れ口にぐるっと一周、端ミシンをかけます。これから先はミシンの台をはずして、筒縫いすると便利です。



できあがった本体にフタをつけます。本体のマジックテープの付いていない側の上から2 cmの線と、フタの上から1 cmの線をあわせて縫います。



フタを上部に折り上げ、アイロンでしっかりと押さええます。本体の上から5 mm程度の位置に印をつけ、ミシンで縫いつけ、お弁当袋のできあがりです。

